

(第1回宇和島市障害者計画・障害福祉計画検討委員会 資料7)

宇和島市 障害福祉に関するアンケート調査 結果報告書

平成29年8月

宇和島市

目 次

1 調査の概要	1
1 調査の目的.....	2
2 調査概要.....	2
3 報告書の見方.....	2
2 調査結果	3
あなた（この郵便の宛名のご本人）の性別・年齢・ご家族などについて.....	4
あなたの障害の状況について.....	9
障害福祉サービス等の利用について.....	12
教育について.....	20
就労について.....	22
地域での生活について.....	24
差別の解消.....	26

1 調査の概要

1 調査の目的

現在、宇和島市では、障害の有無にかかわらず、お互いに人権を尊重し、支え合い、助け合って、誰もが住み慣れたところで安心して暮らせる地域社会をめざして、「宇和島市障害者計画・障害福祉計画（第5期）」の策定をすすめています。

本調査は、市内にお住まいの障害のある方から、日ごろの生活状況や、障害福祉サービスなどに関するご意見をおうかがいし、計画づくりに反映していきたいと考え、実施しました。

2 調査概要

- 調査対象者：550人
- 調査期間：平成29年7月3日（月）～平成29年7月14日（金）
- 調査方法：郵送による配付・回収

調査票	調査対象者数 (配布数)	有効回収数	有効回収率
	550件	282件	51.3%

3 報告書の見方

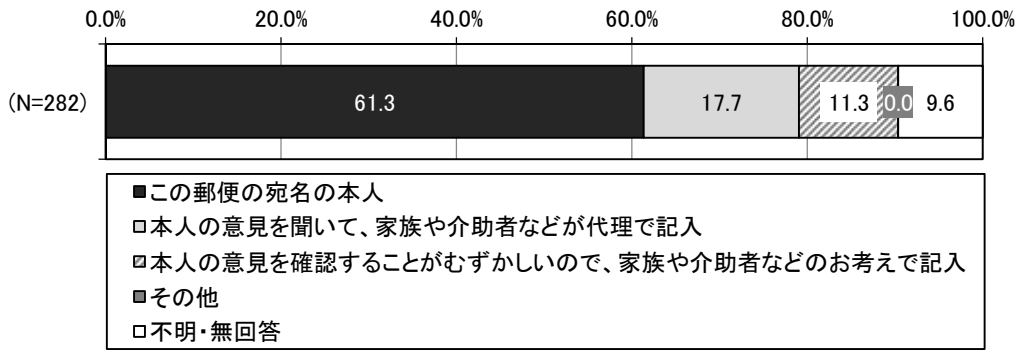
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

2 調査結果

あなた（この郵便の宛名のご本人）の性別・年齢・ご家族などについて

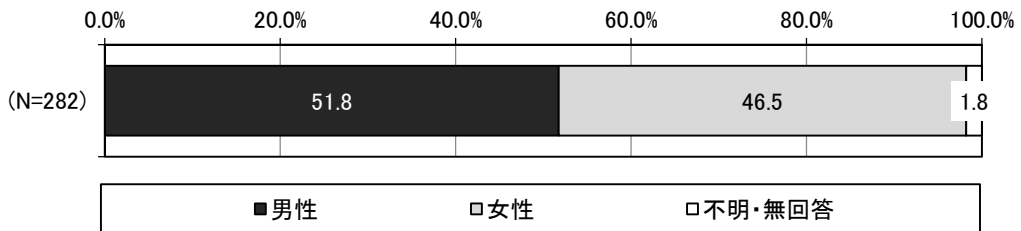
■ この調査票をご記入になる方はどなたですか。（1つだけ○）

調査票記入者についてみると、「この郵便の宛名の本人」が61.3%と最も高く、次いで「本人の意見を聞いて、家族や介助者などが代理で記入」が17.7%、「本人の意見を確かめることがむずかしいので、家族や介助者などのお考えで記入」が11.3%となっています。



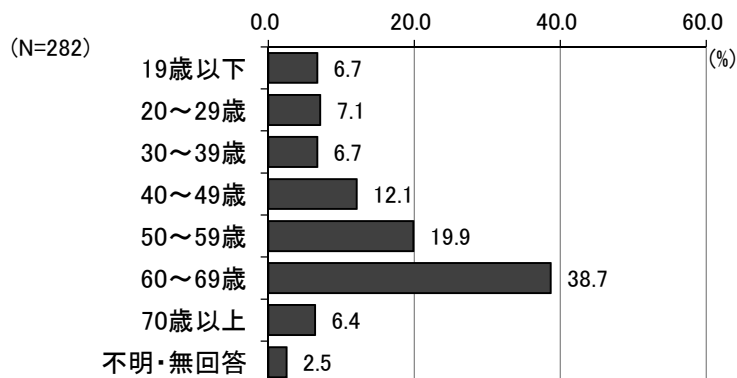
問1 あなたの性別はどちらですか。（1つだけ○）

性別についてみると、「男性」が51.8%、「女性」が46.5%となっています。



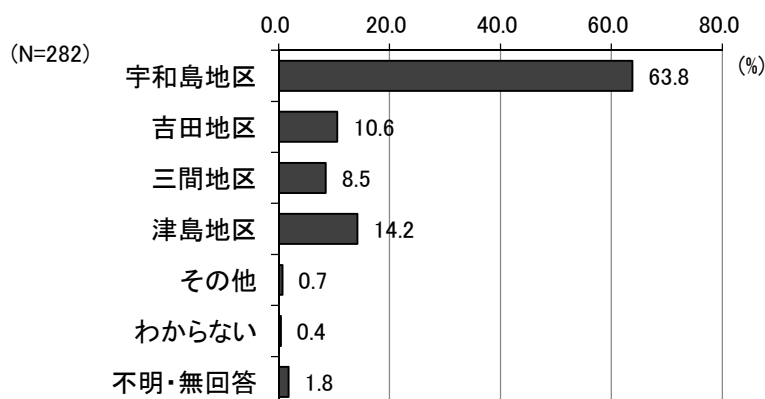
問2 あなたの年齢は、何歳ですか。（数字を記入）

年齢についてみると、「60～69歳」が38.7%と最も高く、次いで「50～59歳」が19.9%、「40～49歳」が12.1%となっています。



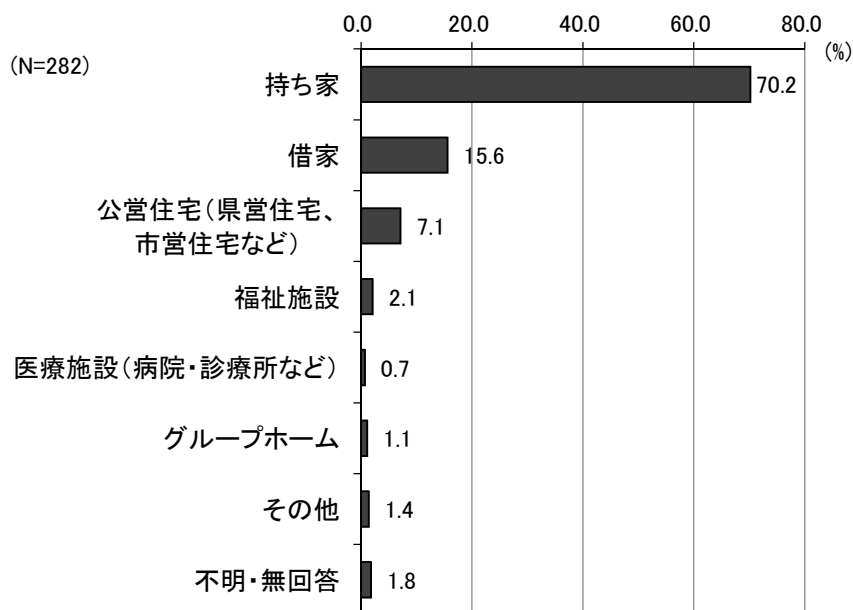
問3 お住まいの地区はどこですか。(1つだけ○)

住んでいる地区についてみると、「宇和島地区」が63.8%ともっとも高く、次いで「津島地区」が14.2%、「吉田地区」が10.6%となっています。



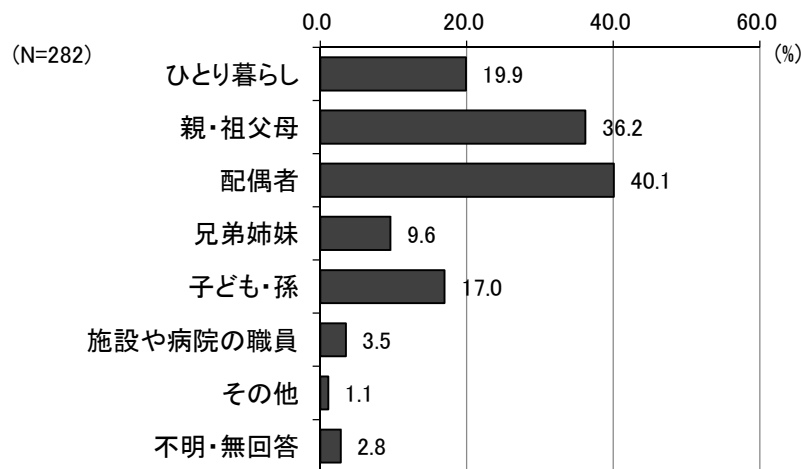
問4 あなたのお住まい(生活の場)はどこですか。(1つだけ○)

お住まい(生活の場)についてみると、「持ち家」が70.2%ともっとも高く、次いで「借家」が15.6%、「公営住宅(県営住宅、市営住宅など)」が7.1%となっています。



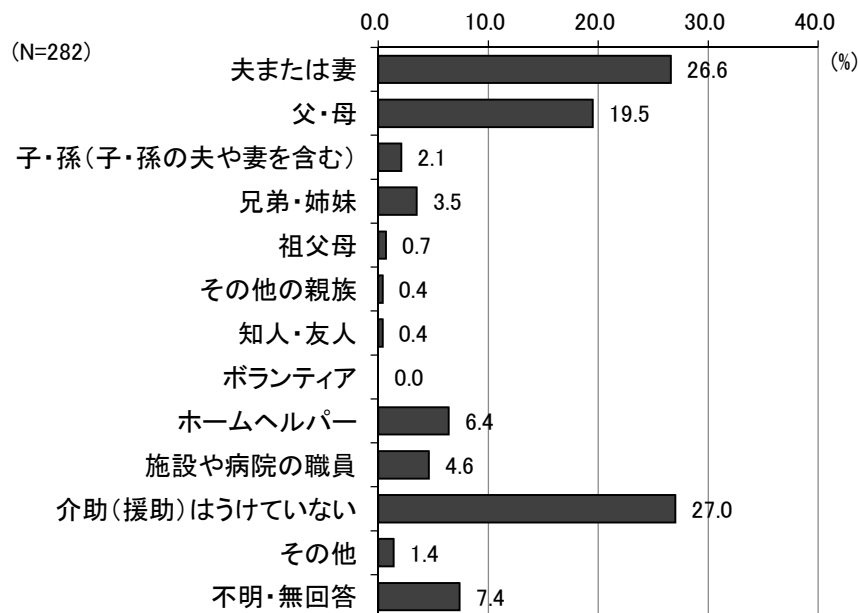
問5 あなたはどなたと一緒に暮らしていますか。(あてはまるものすべてに○)

一緒に暮らしている方についてみると、「配偶者」が40.1%ともっとも高く、次いで「親・祖父母」が36.2%、「ひとり暮らし」が19.9%となっています。



問6 あなたは、普段の生活で主にどなたからの介助(援助)を受けていますか。(1つだけ○) また、その方の年齢(平成29年4月1日現在)と性別をお答えください。 (数字を記入、あてはまるものに○)

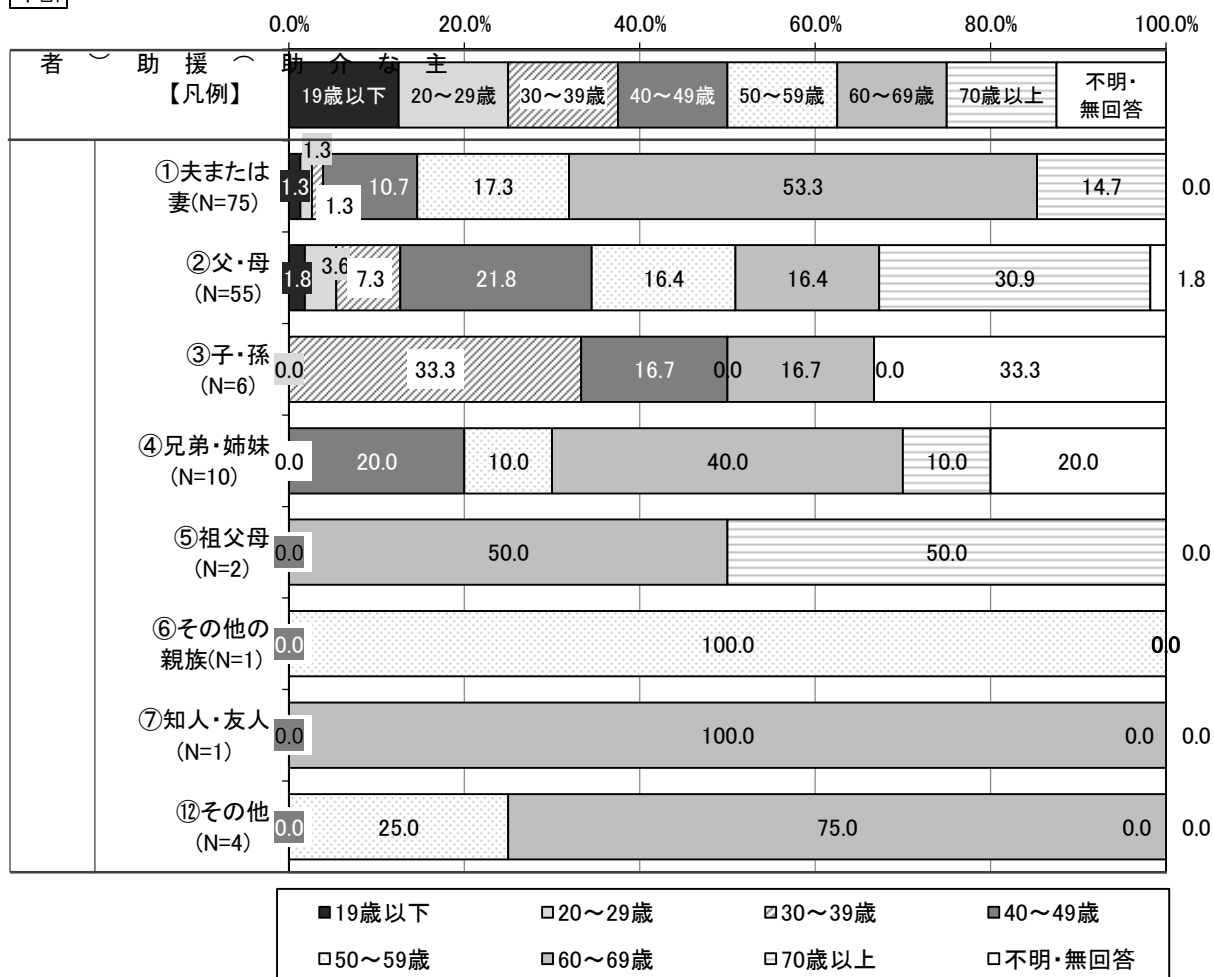
普段の生活で主にどなたからの介助(援助)を受けているかについてみると、「介助(援助)はうけていない」が27.0%ともっとも高く、次いで「夫または妻」が26.6%、「父・母」が19.5%となっています。



主な介助（援助）者の方の年齢についてみると、『夫または妻』では「60～69歳」が53.3%、『父・母』では「70歳以上」が30.9%、『子・孫』では「30～39歳」が33.3%、『兄弟・姉妹』では「60～69歳」が40.0%とそれぞれ高くなっています（「不明・無回答」を除く）。

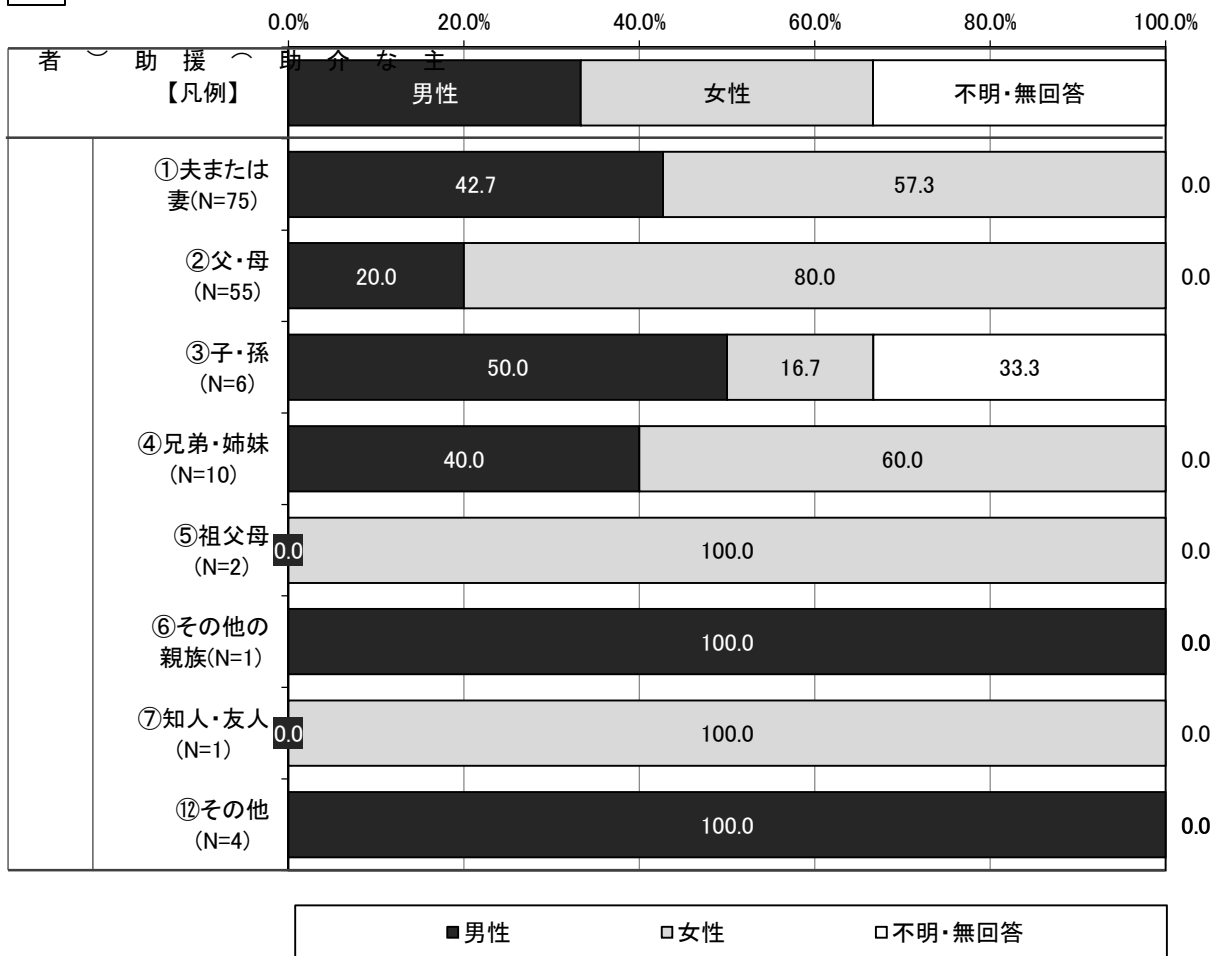
『祖父母』『その他の親族』『知人・友人』『その他』では、「50歳以上」となっています。

年齢



主な介助（援助）者の方の性別についてみると、『夫または妻』『父・母』『兄弟・姉妹』『祖父母』『知人・友人』では「女性」が、『子・孫』『その他の親族』『その他』では「男性」が高くなっています。

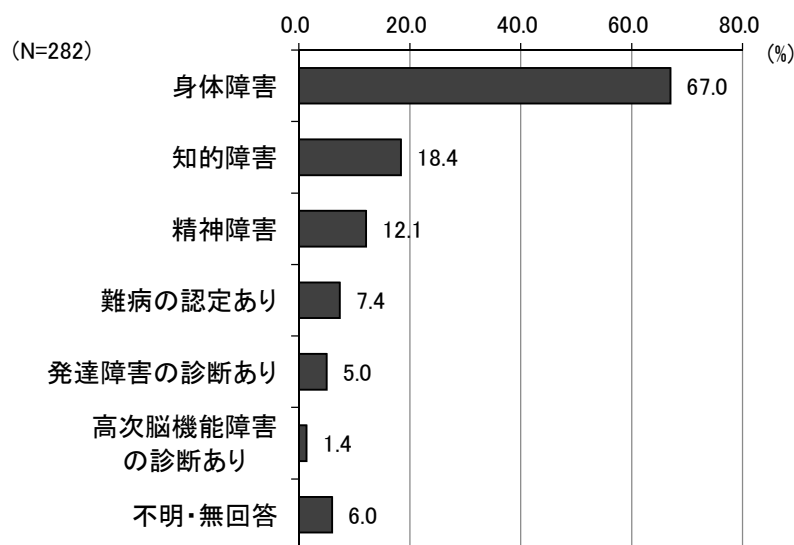
性別



あなたの障害の状況について

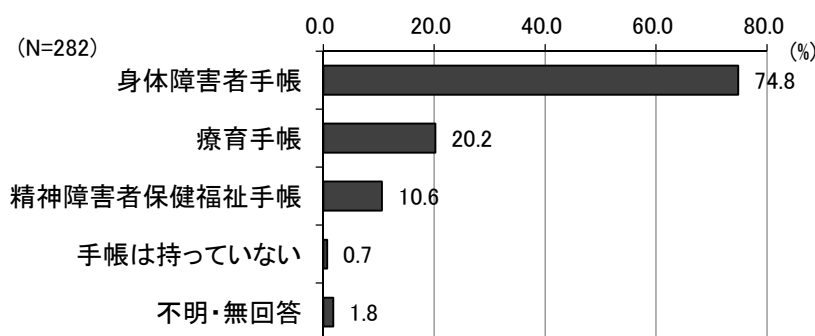
問7 あなたの障害について、あてはまるものすべてに○をしてください。

障害についてみると、「身体障害」が67.0%ともっとも高く、次いで「知的障害」が18.4%、「精神障害」が12.1%となっています。



問8 あなたがお持ちの手帳について、あてはまるものすべてに○をしてください。

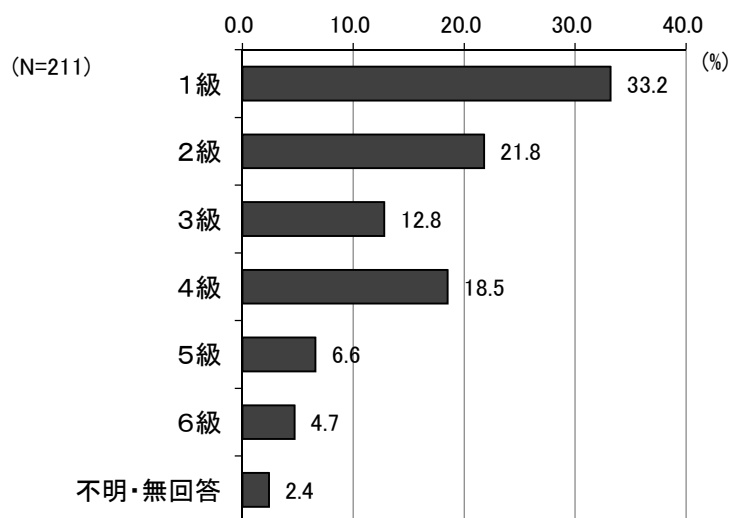
お持ちの手帳についてみると、「身体障害者手帳」が74.8%ともっとも高く、次いで「療育手帳」が20.2%、「精神障害者保健福祉手帳」が10.6%となっています。



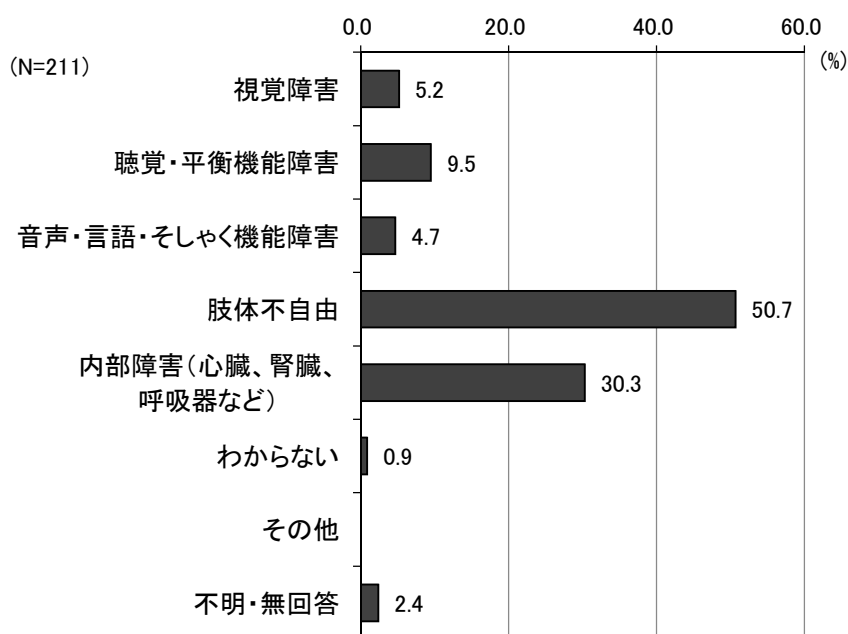
身体障害者手帳所持者の等級についてみると、「1級」が33.2%ともっとも高く、次いで「2級」が21.8%、「4級」が18.5%となっています。

障害名についてみると、「肢体不自由」が50.7%ともっとも高く、次いで「内部障害（心臓、腎臓、呼吸器など）」が30.3%、「聴覚・平衡機能障害」が9.5%となっています。

身体障害者手帳【等級】



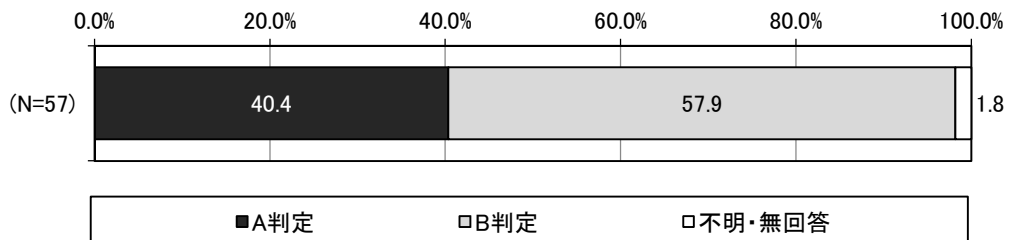
身体障害者手帳【障害名】



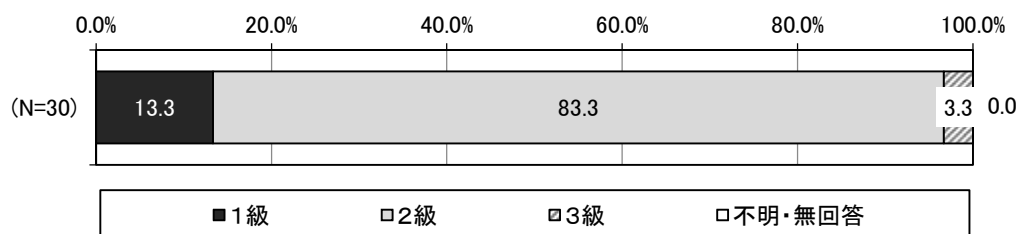
療育手帳所持者の判定についてみると、「B判定」が57.9%、「A判定」が40.4%と「B判定」が上回っています。

精神障害者保健福祉手帳所持者の等級についてみると、「2級」が83.3%ともっとも高く、次いで「1級」が13.3%、「3級」が3.3%となっています。

療育手帳【判定】



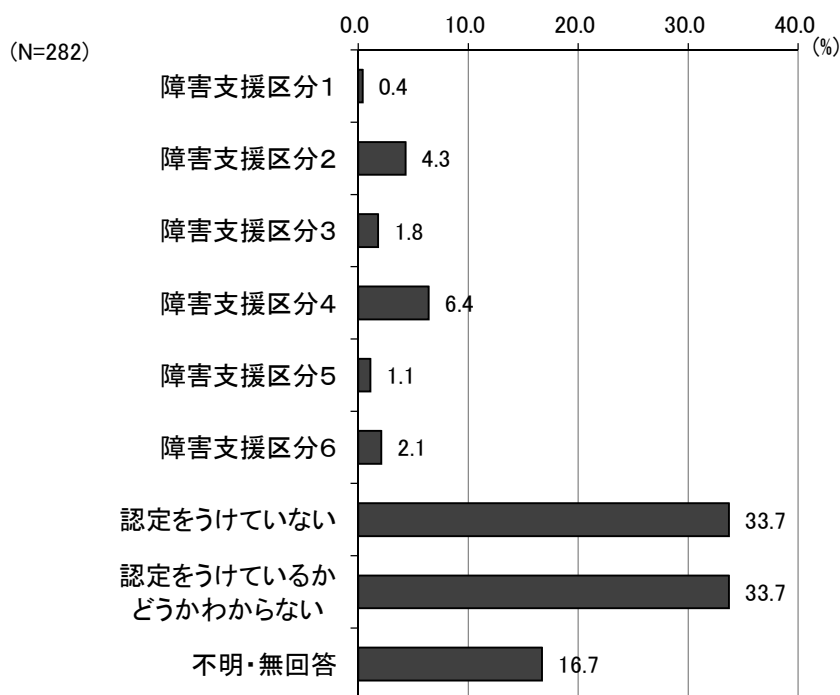
精神障害者保健福祉手帳【等級】



障害福祉サービス等の利用について

問9 あなたは障害支援区分認定を受けていますか。(1つだけ○)

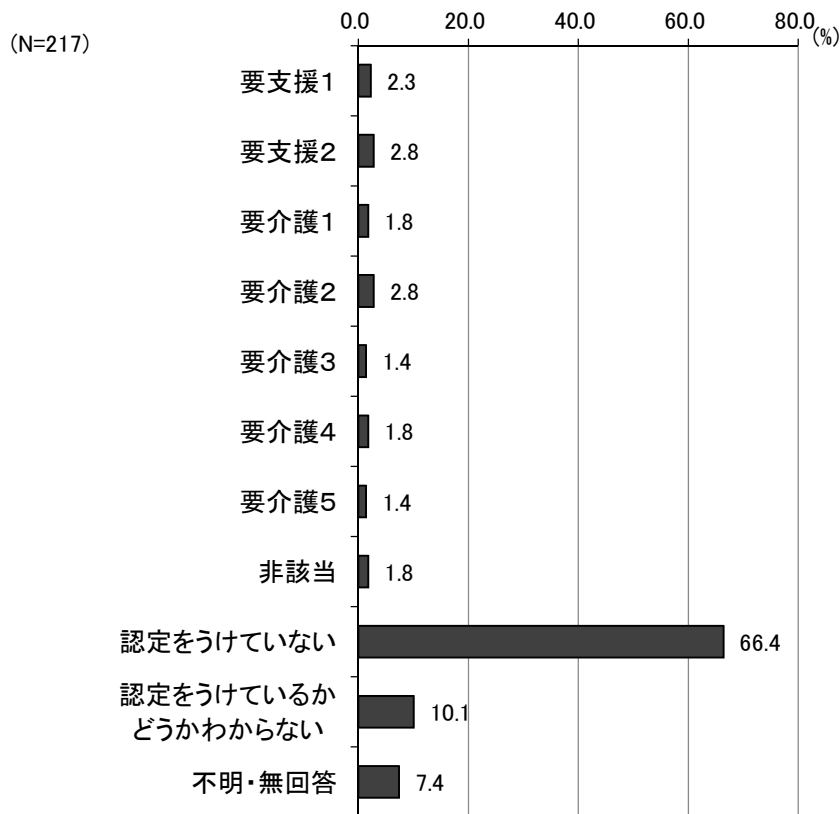
障害支援区分認定を受けているかについてみると、「認定を受けていない」「認定を受けているかどうか分からない」がともに33.7%と最も高く、次いで「障害支援区分4」が6.4%、「障害支援区分2」が4.3%となっています（「不明・無回答」を除く）。



※あなたの年齢が40歳以上の方に伺います。

問 10 あなたは介護保険において、要介護認定を受けていますか。(1つだけ○)

介護保険において、要介護認定を受けているかについてみると、「認定を受けていない」が66.4%と最も高く、次いで「認定を受けているかどうかわからない」が10.1%となっています。



問 11 現在、あなたが、利用している障害福祉サービス等について、あてはまるものすべてに○をしてください。

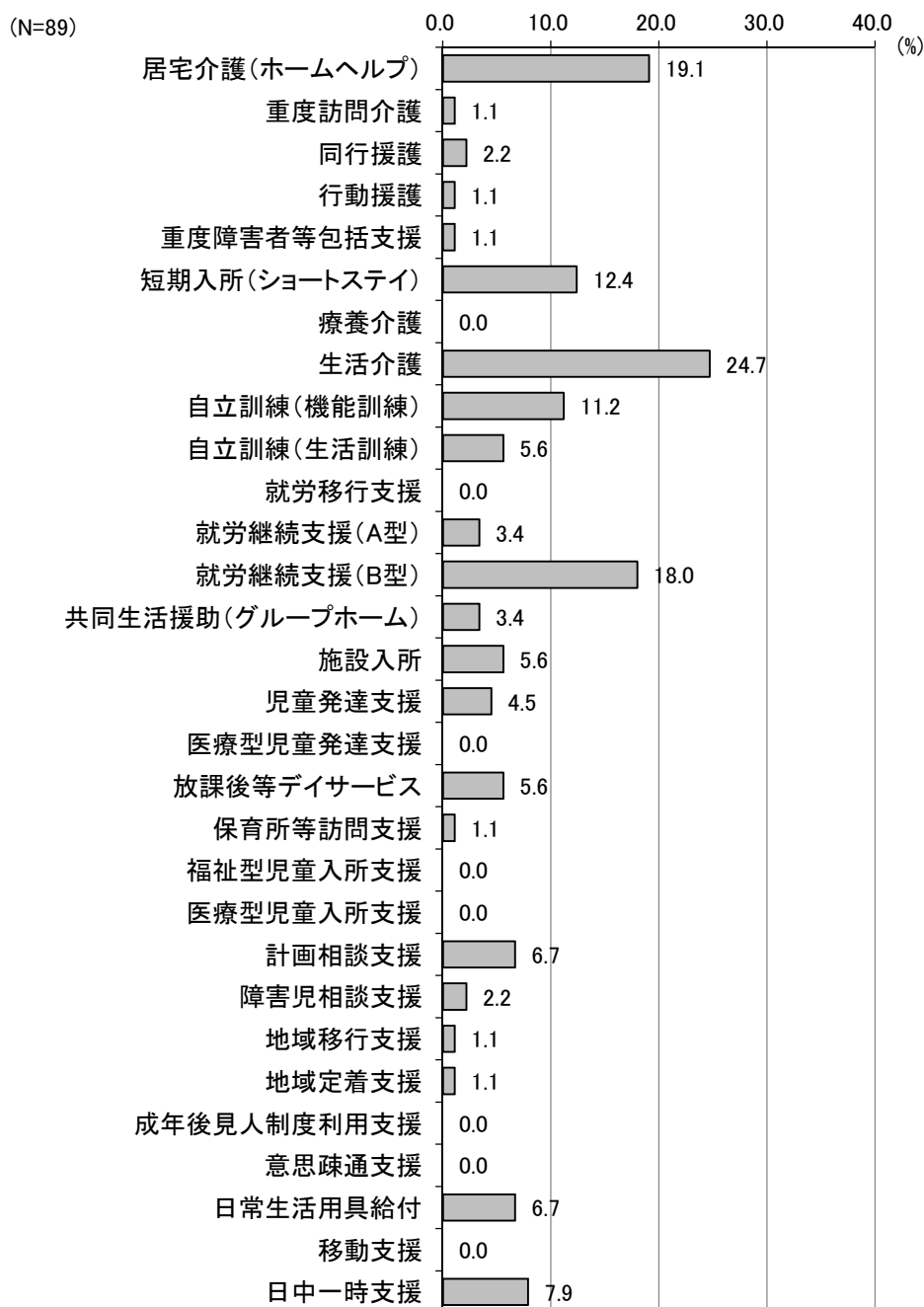
現在、あなたが、利用している障害福祉サービス等についてみると、「生活介護」が7.8%ともっとも高く、次いで「居宅介護（ホームヘルプ）」が6.0%、「就労継続支援（B型）」が5.7%となっています（「不明・無回答」を除く）。

※「不明・無回答」を含む



現在、あなたが、利用している障害福祉サービス等についてみると、「生活介護」が24.7%ともっとも高く、次いで「居宅介護（ホームヘルプ）」が19.1%、「就労継続支援（B型）」が18.0%となっています。

※「不明・無回答」を含まない



問 12 今後、あなたが、利用したい障害福祉サービス等について、あてはまるものすべてに○をしてください。

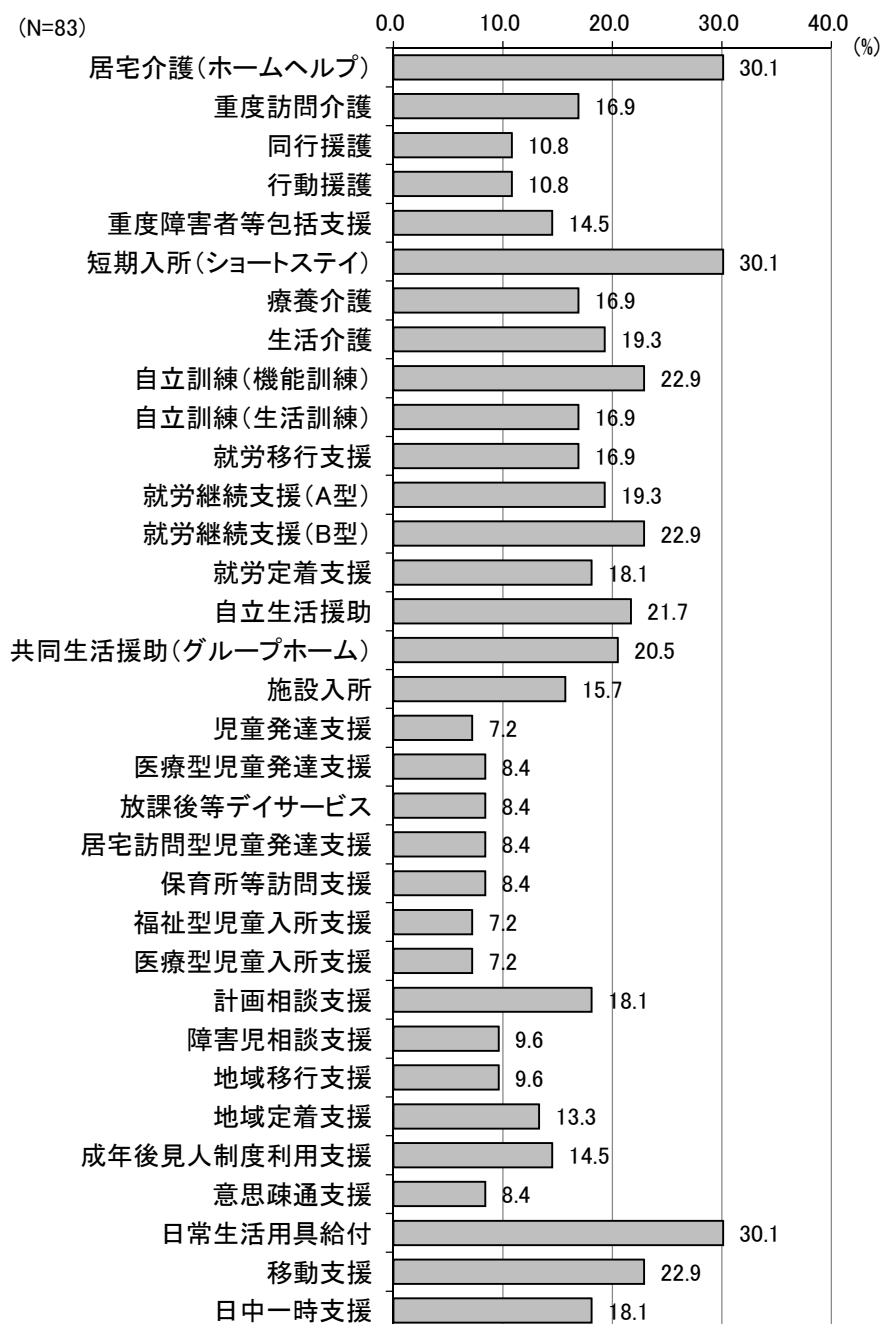
今後、あなたが、利用したい障害福祉サービス等についてみると、「居宅介護（ホームヘルプ）」「短期入所（ショートステイ）」「日常生活用具給付」がすべて8.9%ともっとも高く、次いで「自立訓練（機能訓練）」「就労継続支援（B型）」「移動支援」が6.7%となっています（「不明・無回答」を除く）。

※「不明・無回答」を含む



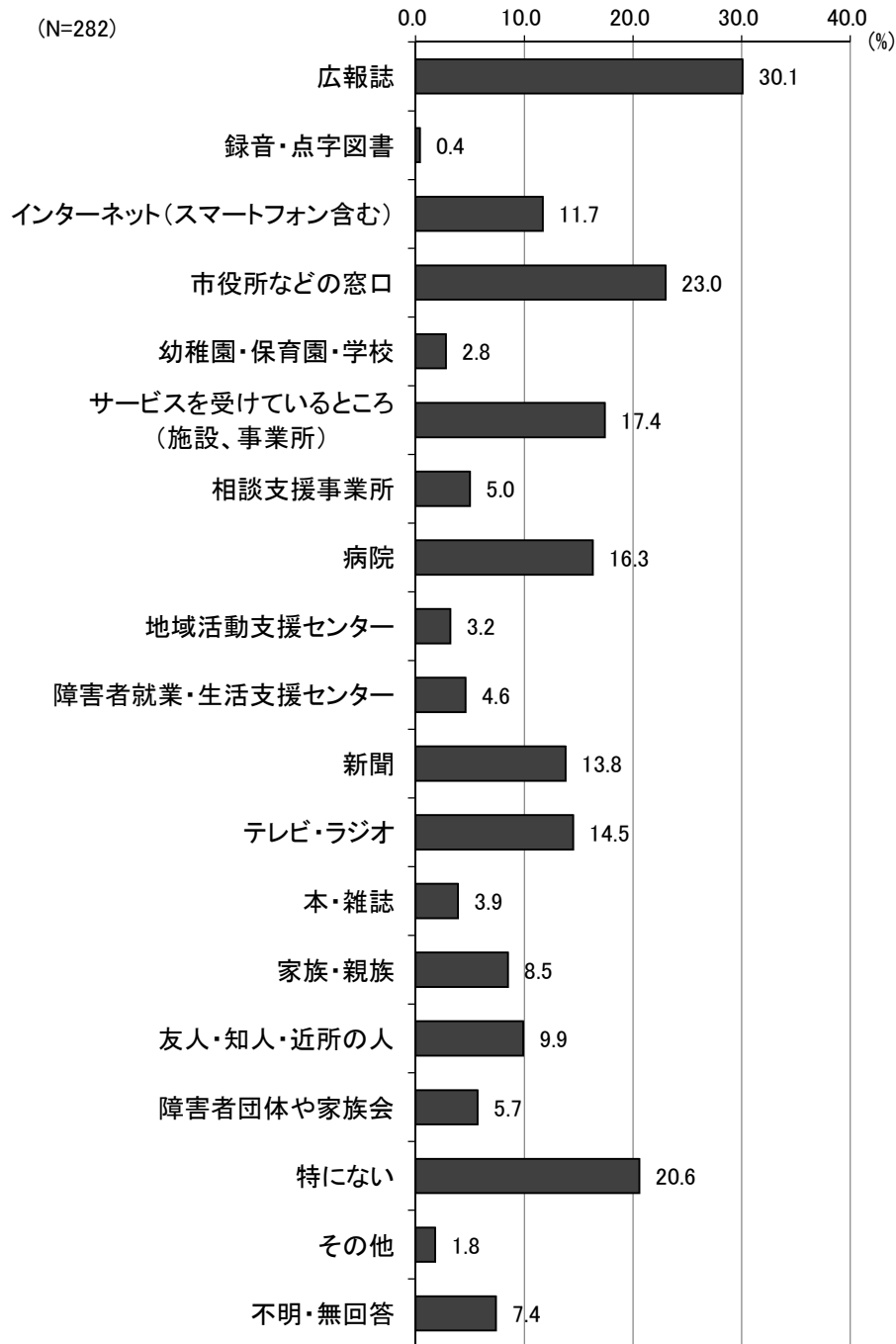
今後、あなたが、利用したい障害福祉サービス等についてみると、「居宅介護（ホームヘルプ）」「短期入所（ショートステイ）」「日常生活用具給付」がすべて30.1%ともっとも高く、次いで「自立訓練（機能訓練）」「就労継続支援（B型）」「移動支援」が22.9%となっています。

※「不明・無回答」を含まない



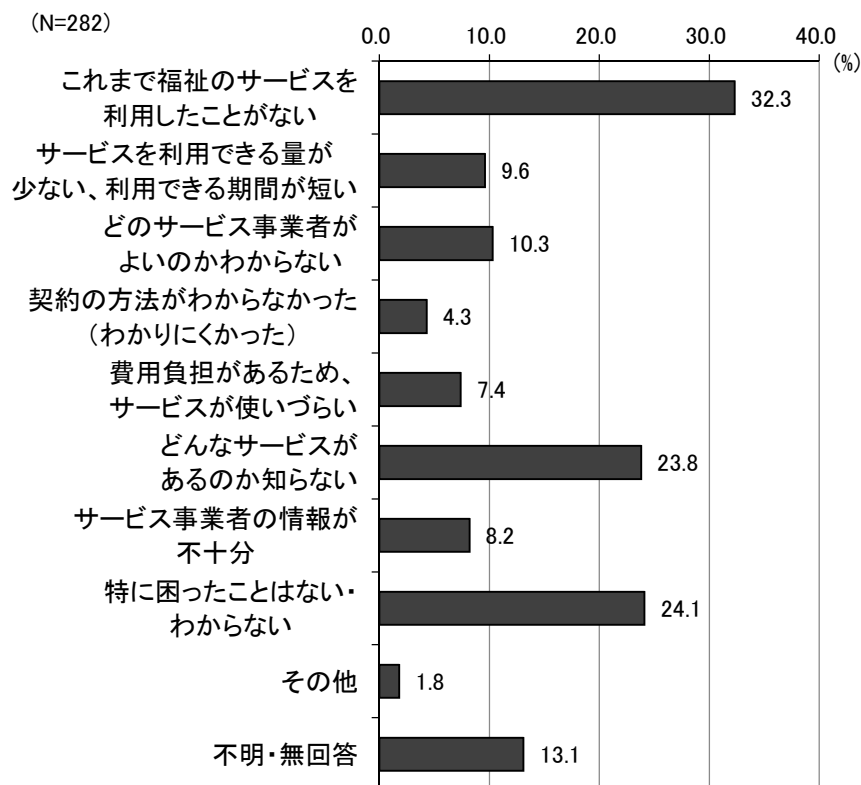
問 13 あなたは福祉に関する情報をどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

福祉に関する情報をどこから入手しているかについてみると、「広報誌」が30.1%と最も高く、次いで「市役所などの窓口」が23.0%、「特にない」が20.6%となっています。



**問 14 あなたは福祉のサービスを利用するとき何か困ったことがありましたか。
(主なものを3つまで○)**

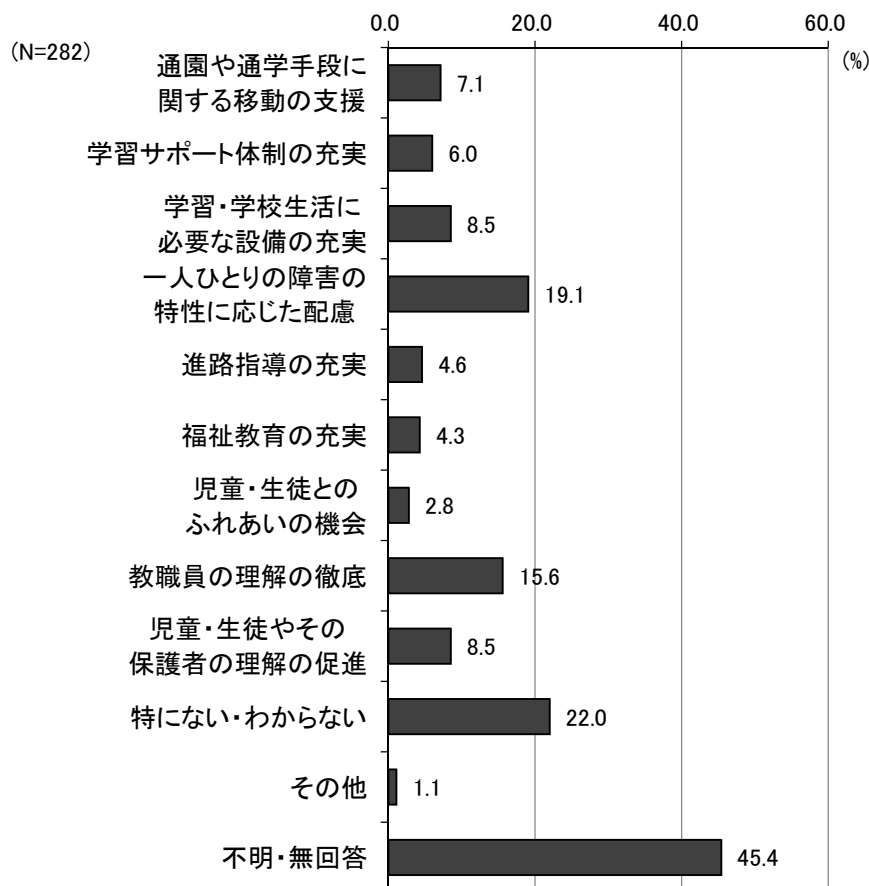
福祉のサービスを利用するとき何か困ったことがあったかについてみると、「これまで福祉のサービスを利用したことがない」が32.3%ともっとも高く、次いで「特に困ったことはない・わからない」が24.1%、「どんなサービスがあるのか知らない」が23.8%となっています。



教育について

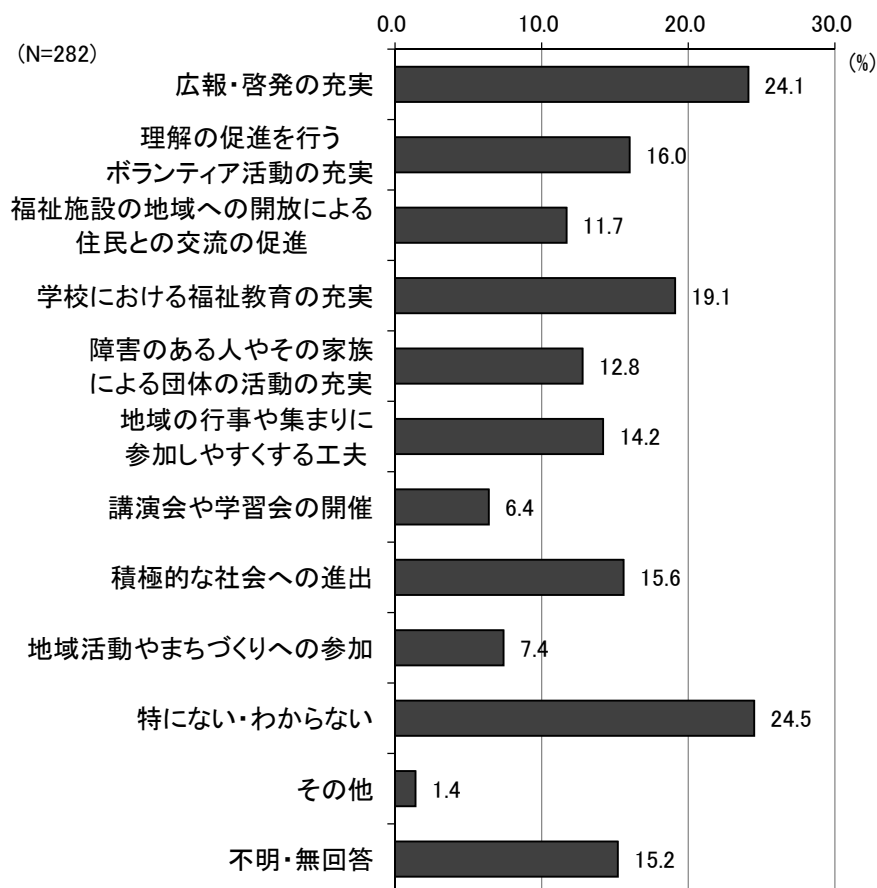
問 15 あなたが学校や幼稚園・保育園等での生活を送るうえで必要だと思ったこと、もしくは思っていることは、どのようなことですか。(主なもの3つまで○)

学校や幼稚園・保育園等での生活を送るうえで必要だと思ったこと、もしくは思っていることについてみると、「特にない・わからない」が22.0%ともっとも高く、次いで「一人ひとりの障害の特性に応じた配慮」が19.1%、「教職員の理解の徹底」が15.6%となっています（「不明・無回答」を除く）。



問 16 あなたが障害や障害のある人に対する市民の理解を深めるために必要だと思うことはどのようなことですか。(主なものを3つまで○)

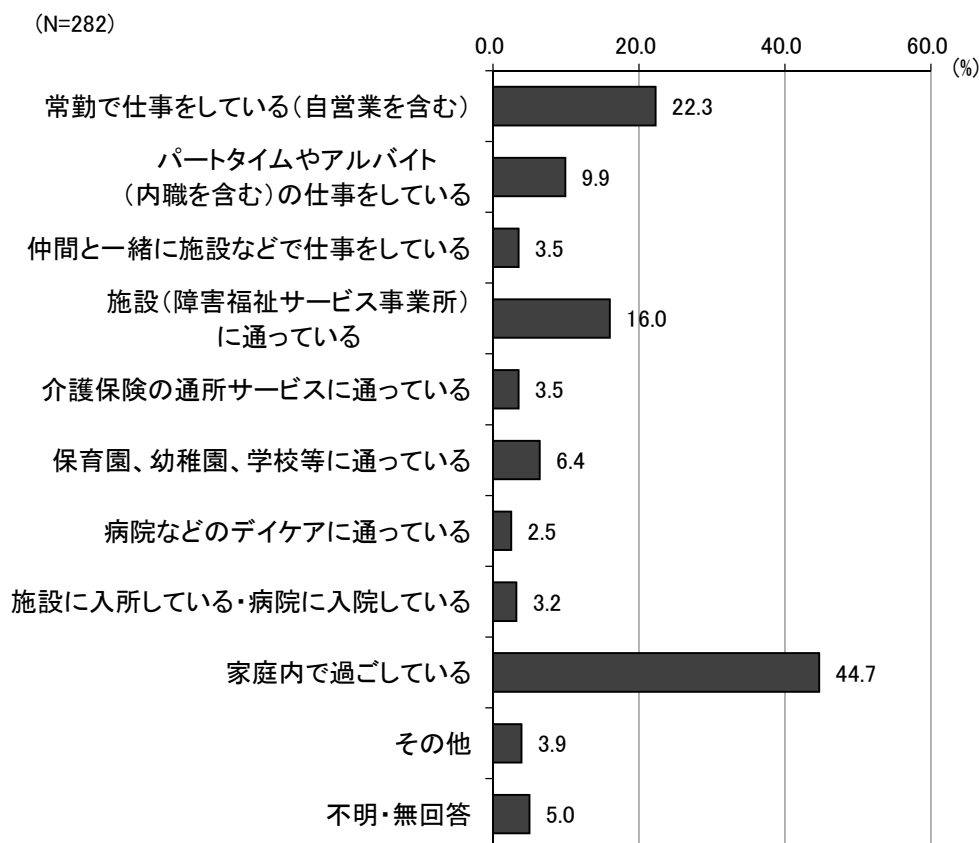
障害や障害のある人に対する市民の理解を深めるために必要だと思うことについてみると、「特にない・わからない」が24.5%ともっとも高く、次いで「広報・啓発の充実」が24.1%、「学校における福祉教育の充実」が19.1%となっています。



就労について

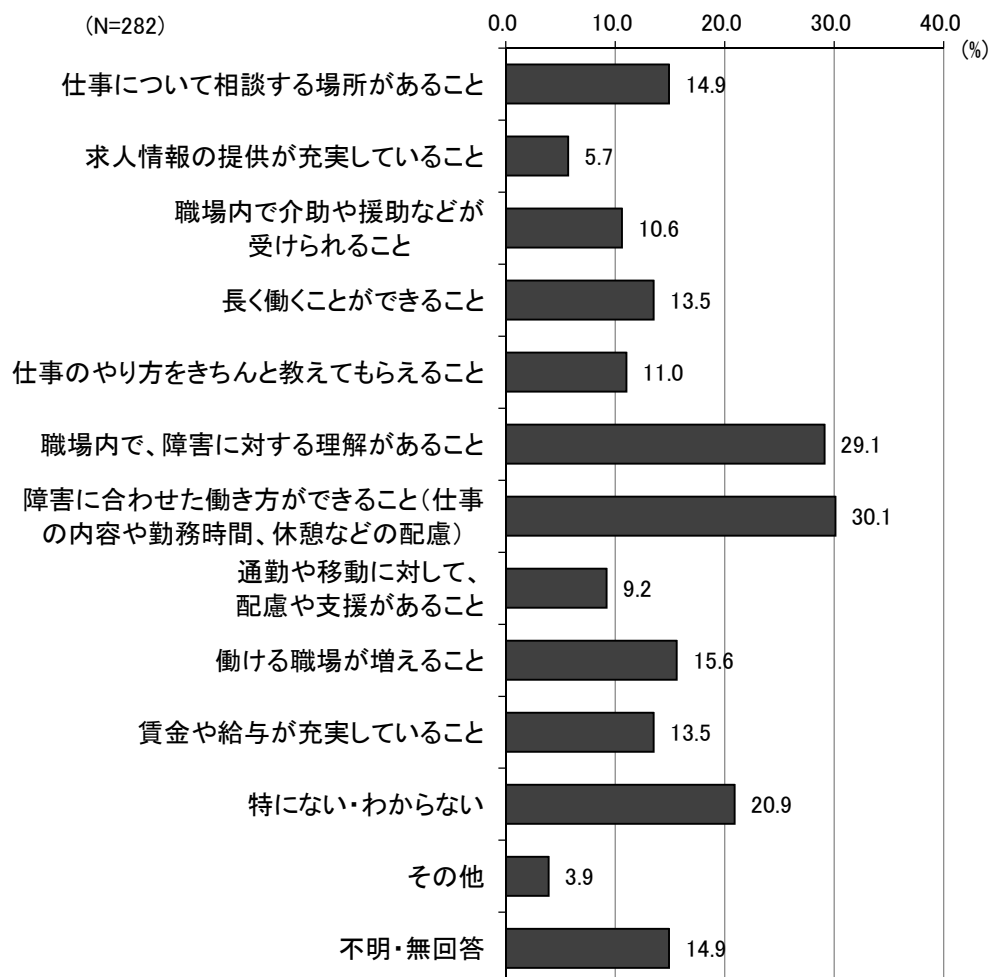
問 17 あなたは、日中の生活をどのように過ごしていますか。（あてはまるものすべてに〇）

日中の生活をどのように過ごしているかについてみると、「家庭内で過ごしている」が44.7%ともっとも高く、次いで「常勤で仕事をしている（自営業を含む）」が22.3%、「施設（障害福祉サービス事業所）に通っている」が16.0%となっています。



問 18 あなたが働く場合、どのような配慮を希望しますか。(主なもの3つまで○)

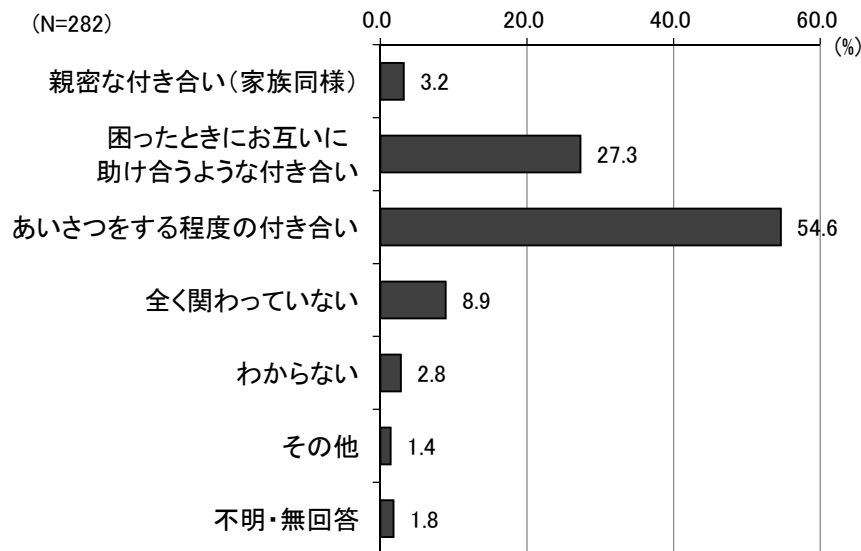
働く場合、どのような配慮を希望するかについてみると、「障害に合わせた働き方ができること（仕事の内容や勤務時間、休憩などの配慮）」が30.1%と最も高く、次いで「職場内で、障害に対する理解があること」が29.1%、「特にない・わからない」が20.9%となっています。



地域での生活について

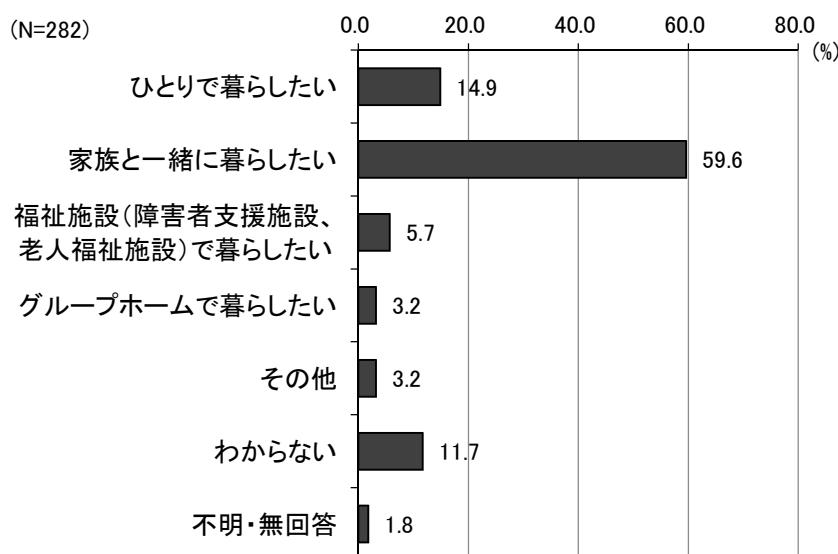
問 19 あなたは近所・地域の人とどのような付き合いをしていますか。(1つだけ○)

近所・地域の人とどのような付き合いをしているかについてみると、「あいさつをする程度の付き合い」が54.6%ともっとも高く、次いで「困ったときにお互いに助け合うような付き合い」が27.3%、「全く関わっていない」が8.9%となっています。



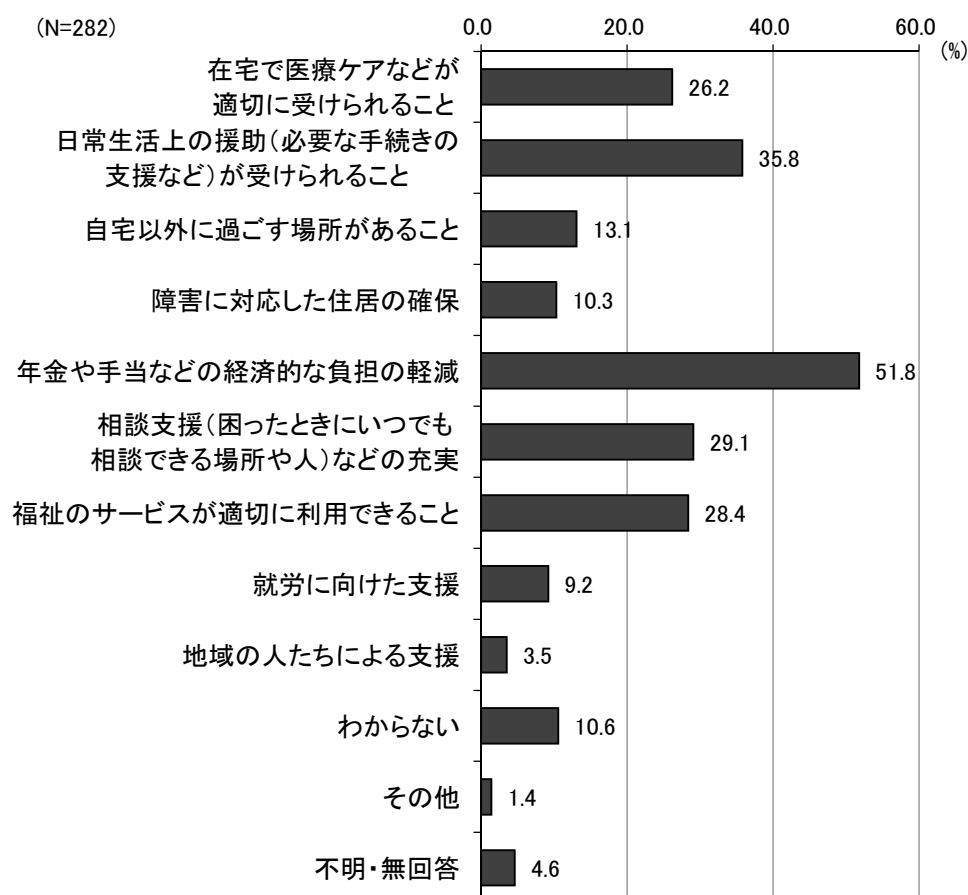
問 20 あなたは今後、どのように暮らしたいですか。(1つだけ○)

今後、どのように暮らしたいかについてみると、「家族と一緒に暮らしたい」が59.6%ともっとも高く、次いで「ひとりで暮らしたい」が14.9%、「わからない」が11.7%となっています。



問 21 あなたが自宅など地域で生活することを考えたとき、どのような支援があればよいと思いますか。(主なもの3つまで○)

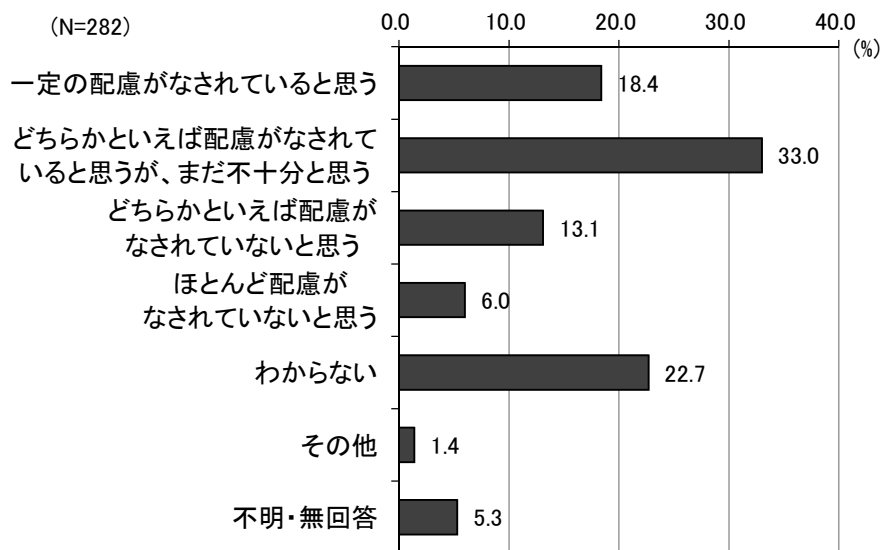
自宅など地域で生活することを考えたとき、どのような支援があればよいと思うかについてみると、「年金や手当などの経済的な負担の軽減」が51.8%ともっとも高く、次いで「日常生活上の援助（必要な手続きの支援など）が受けられること」が35.8%、「相談支援（困ったときにいつでも相談できる場所や人）などの充実」が29.1%となっています。



差別の解消

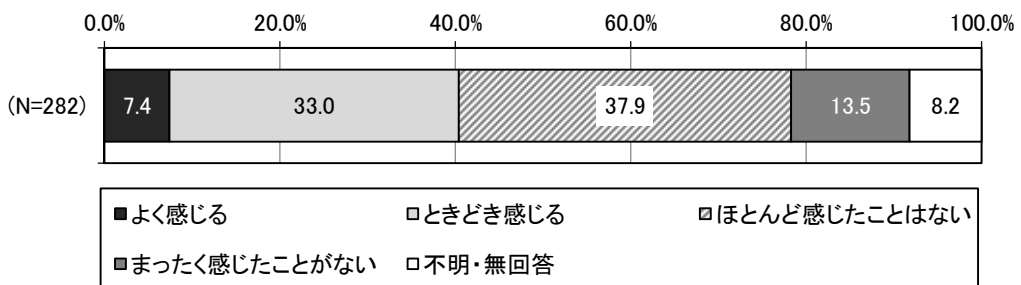
問 22 あなたは日ごろの生活のなかで、障害がある人への配慮がなされている、または、なされていないと感じたことがありますか。(1つだけ○)

日ごろの生活のなかで、障害がある人への配慮がなされている、または、なされていないと感じたことがあるかについてみると、「どちらかといえば配慮がなされていると思うが、まだ不十分と思う」が33.0%と最も高く、次いで「わからない」が22.7%、「一定の配慮がなされていると思う」が18.4%となっています。



問 23 日常生活で差別や偏見、疎外感を感じるときがありますか。(1つだけ○)

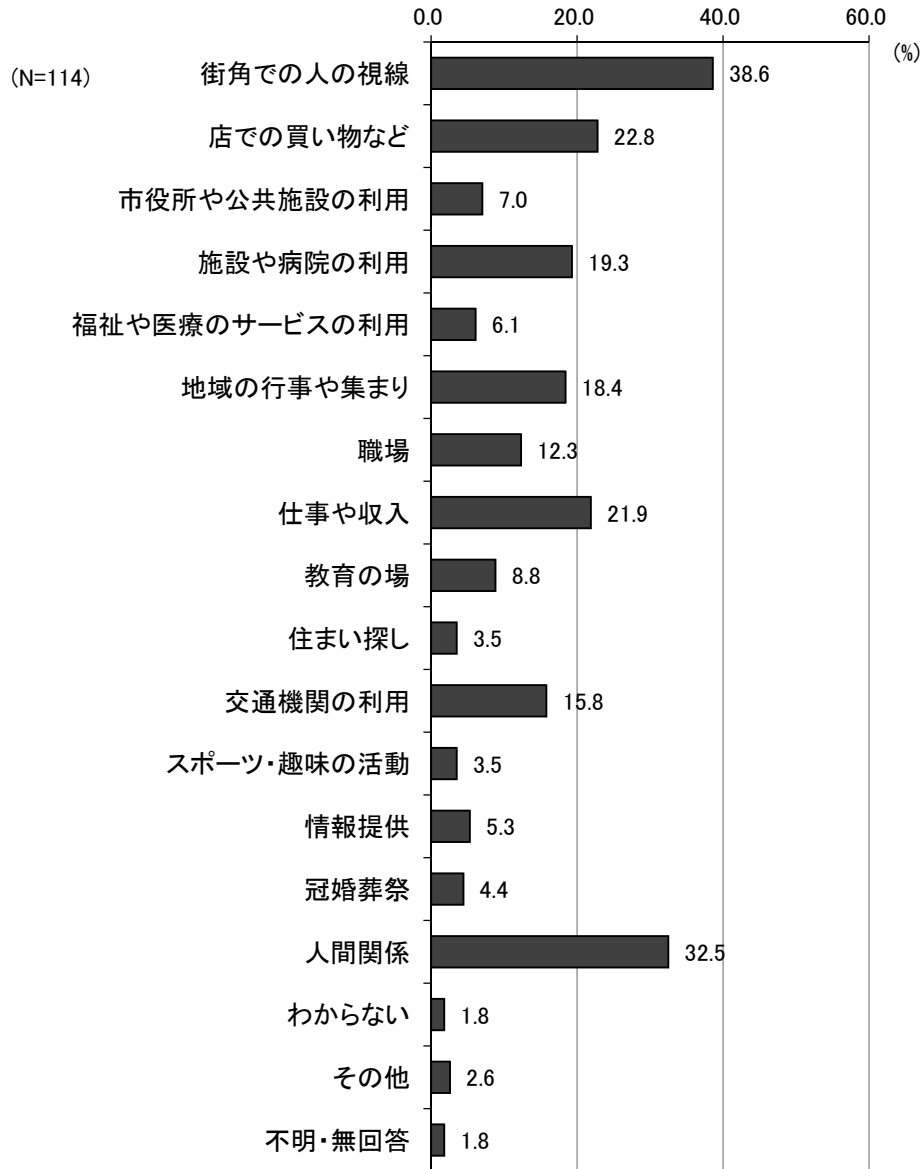
日常生活で差別や偏見、疎外感を感じるときがあるかについてみると、「ほとんど感じたことはない」が37.9%と最も高く、次いで「ときどき感じる」が33.0%、「まったく感じたことがない」が13.5%となっています。



※問 23 で「1. よく感じる」か「2. ときどき感じる」と回答した方に伺います。

問 24 どのようなときにそれを感じましたか。(あてはまるものすべてに○)

どのようなときにそれ(差別や偏見、疎外感)を感じたかについてみると、「街角での人の視線」が38.6%ともっとも高く、次いで「人間関係」が32.5%、「店での買い物など」が22.8%となっています。



宇和島市 障害福祉に関するアンケート調査
【結果報告書】

発行年月：平成 29 年 8 月

発 行：宇和島市

編 集：宇和島市 保健福祉部 福祉課 障害福祉係

〒 798-8601 愛媛県宇和島市曙町 1 番地

T E L：0895-24-1111

F A X：0895-24-1160
